

2006年8月2日
機動建設工業株式会社
CLSA キャピタルパートナーズ

機動建設工業グループと CLSA サンライズキャピタルの資本提携に関するお知らせ
－ 国内推進工事のトップ企業がアジア屈指の投資会社の支援を受けて事業拡大へ －

本日、機動建設工業株式会社（本社：大阪市、代表取締役会長兼社長：桐野誠和、以下「機動建設」）と CLSA キャピタルパートナーズ（本社：香港、日本オフィス：東京都港区、マネージングディレクター：清塚徳、齋藤正継、以下「CLSA」）が助言する日本特化型ファンドである CLSA サンライズキャピタルは、以下事項につき合意致しました。

1. 機動建設はサンライズの保有する特別目的会社（以下「サンライズ」）を割当先とする第三者割当増資を実行する。
2. 機動建設が有する日本建設株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：日野直行、以下「日本建設」）の発行済株式の一部をサンライズに譲渡する。

サンライズは本件増資引受けに加え、既存大株主であるジェイ・ブリッジ株式会社、マーケットデザイン有限会社等から機動建設の既存株式も取得することで、機動建設の発行済株式の 32.5%を保有する筆頭株主となる予定です。

機動建設の現経営陣も、サンライズと共に、第三者割当増資を引受け、CLSA グループの全面的な支援のもと強力なリーダーシップをもって海外進出を含めた事業展開を推進してまいります。またサンライズは日本建設の発行済株式の 35%を保有する大株主として、同社の株式上場の早期達成に向けて総合的な支援を提供してまいります。

機動建設は、卓越した技術力を背景に国内の地中推進工事で揺るぎない地位を誇る、業界のトップ企業です。同社はこれまで公共事業の土木主体に成長してまいりましたが、本年3月には、商業ビル・工場・病院・集合住宅等の民間建築を中心に建築物の新築・リニューアル工事を全国展開する日本建設をグループに取り込み、官・民そして建築・土木工事全般に亘りバランスの取れた建築・土木サービスのワンストッププロバイダーへの転換を実現。日本経済の回復・成長に合わせて拡大が見込まれる建設需要を幅広く取り込むことが可能な体制を確立しています。

今般、アジア全域に広がるネットワークを有する CLSA グループの全面的なサポートを得る

ことにより、急速な拡大が見込まれるアジア地域での推進工事市場を積極的に開拓すると同時に、CLSA グループの資金力を活かし、重点投資部門の位置付けにある民間建築および創業事業である土木工事業におけるより大規模な事業展開を通じた既存ビジネスの拡大、および業界再編に向けた M&A の検討も進め、早期に売上 1,000 億円規模の企業グループへの成長を目指します。

本資本提携が合意に達し、機動建設工業の桐野代表取締役社長は次のように述べています。

「当社は、本年 3 月に民間建築事業を全国展開する日本建設をグループに取り込んだことにより民間建築市場への本格参入を果たし、推進工事・PC 工事を中心とする公共工事関連事業を基盤としつつ、総合的なサービスの提供が可能な体制を構築致しました。加えて、本年は、推進工事の需要拡大が期待されるアジア市場に目を向け、台湾に現地法人を設立するなど、本格的なアジア進出に向けて大きく舵を切った年でもあります。このような時期に、アジア有数の投資銀行グループである CLSA グループから当社成長計画への理解と全面的な支援を得たことは、極めて画期的な出来事であると考えております。今後、CLSA グループの資金力とアジア全域に広がるネットワークを活用し、既存事業の拡大、M&A による新規事業への進出やアジア地域での新たな事業展開をさらに推進することにより、売上高 1,000 億円規模の企業グループへの成長が早期に実現できるものと確信しております。」

また、CLSA の清塚マネージングディレクターは次のように述べています。「機動建設グループは、推進工事のリーディングカンパニーである機動建設と、民間工事を全国規模で展開する日本建設のマッチングにより、官・民・建築・土木に非常にバランスの取れた事業ポートフォリオを構築しておられ、財務内容においても借入金残高を上回る現預金を保有し、また同業他社と比べても高い収益力を実績として上げておられる優良企業グループです。今般、桐野社長を中心とする意識の高い経営陣の皆様と志を同じくし、資本参加の上、同グループの事業発展のサポートをする機会に恵まれたことに大変感謝しております。弊社グループの有するアジア全域に亘るネットワークと資金力をご活用いただくことにより、基幹事業である推進事業のアジア地域での積極的な展開、及び戦略的成長部門の位置付けにある民間建築工事の事業拡大、そして M&A 機会の追求も含め、スピーディーに事業の拡大を図ることが可能と考えております。」

以上

機動建設グループの概要

グループ売上高 : 430 億円 (平成 19 年 5 月期予想)

(ご参考) 平成 18 年 5 月期実績

機動建設 : 130 億円 (公共事業中心)

日本建設 : 300 億円 (民間建設ほぼ 100%)

上記グループ売上高 (予想) においても、官民割合におきましては過去実績と同様の受注構成が見込まれます。

【機動建設工業株式会社】

商号 : 機動建設工業株式会社

代表者 : 代表取締役社長 桐野誠和

所在地 : 大阪府大阪市福島区福島四丁目 6 番 31 号

設立年月 : 昭和 21 年 10 月

業務 : 上下水道、ガス、電話、電力ケーブル等の地下推進埋設工事
PC (プレストレストコンクリート) 橋梁/タンク工事
付加価値提供型不動産投資

【日本建設株式会社】

商号 : 日本建設株式会社

代表者 : 日野直行

所在地 : 大阪府大阪市中央区備後町一丁目 6 番 15 号

設立年月 : 昭和 63 年 5 月

業務 : 商業ビル・工場・病院・集合住宅等の民間建築を中心に建築物
の新築/リニューアル工事の企画・設計・施工

CLSA キャピタルパートナーズの概要

CLSA キャピタルパートナーズは世界第 5 位の資産規模を誇る商業銀行であるクレディアグリコール銀行 (本店フランス) グループに属し、アジア有数の投資銀行である CLSA グループのプライベートエクイティ (以下「PE」といいます) 投資会社です。アジア全域を対象とする PE ファンド、付加価値提供型不動産ファンド等、総運用資産は 1,500 億円を超え、アジア地域に広がる幅広いネットワークを有し、投資先企業のアジア展開を全面的にバックアップする体制が特徴の一つです。また、投資方針として「経営陣との信頼関係」、「ビジネスの将来性」を重要視しており、マジョリティ取得を前提とした未上場会社のマネジ

メントバイアウト、上場企業の戦略的非公開化に限らず、上場維持を前提とした上場企業向け投資、成長資金の投入等、対象会社のニーズに応じた幅広いソリューションを提供してまいります。

CLSA サンライズキャピタルは、上記方針のもと、日本特化型ファンドとして400億円規模で、日本の中堅企業を対象に3～5年の投資期間で投資活動を実施しております。

以上

本件に関するお問い合わせ先

機動建設工業株式会社 上原範康 TEL:06-6458-5461

CLSA キャピタルパートナーズ 中道克明 TEL:03-4580-5325

